

愛知・知多障害年金 相談センター 伊藤 斉毅殿

前略この度障害年金申請に当たり大変お世話になりました。一言、御礼申し上げたくペンを取りました。また今回の体験が同じ苦しみを背負っておられる方々の参考になれば幸いです。

私は9年程前から右手で字を書く時震えたり右足を引きずる様な症状が出始めパーキンソン病と診断されました。

それでも会社での仕事は出来たので出勤していましたが少しずつ悪化して行き定年退職を前に会社で歩行中つまずいたり文字が書けなくなったりしてしまい上司より早期退職を勧められました。

この先の生活への不安で一杯でしたが何も分かんず銀行の年金相談会へ出掛けその席で社労士の方が障害年金の事を聞かされその場で年金事務所へ出向き担当の方が説明を受け後日必要書類を揃え申請しました。

判定が出るまで3ヵ月は必要との事でしたので不安を抱えながら毎日を過していた中悪い事は続く物で今度は前立腺に「ガン」が発見され入院、退職、保険年金等各種手続き、放射線治療、抗がん剤投与と目まぐるしい日々の中で忘れかけていた年金の申請書類が戻って来てしまいました。

添付されたシートには担当者の方が手直し箇所方法を親切に記入してくれていましたのでそれに従い修正を行ない再提出となりましたが体力、気力とも限界に近かった私はもう手直しはしたくない出来ない状況でした。

そんな中社労士の方で障害年金専門で相談を受けてくれる所があると聞き数か所に連絡して感じの良かった相談センターに決め後日事務所にてお話ししましたが誠実な人柄が良く判かり安心して任せられると思いお願いする事にしました。

申請書に目を通していただいた時私を勇気付ける言葉、大変うれしく思いました。さらにチェックシート等で最終チェックを行ない万全の状態申請出来ました。私の体調を気づかりフォロー、あたたかい人柄が来る安心感に包まれながら作業を進めた結果、2級を受給する事が決定しました。

先生と話した「人との出逢い」年金事務所の担当者、病院の先生そして伊藤先生
のどなたが欠けても今回の結果は違ったものになっていたでしょう。

今後の人生の中で少しでも恩返しが出来ればと考えています。

おかげ様で「がん」の治療も終り、9月に無事定年退職を迎える事が出来
第2の人生を「安心」にてスタートしました。

本当にありがとうございました。

「誠実」な人柄で「安心」と「勇気」を私達に与え「あたたかく」包んでくれたとき
最良の結果へ共に歩んだ事、大変感謝しております。乱文乱筆、御容赦下さい。

草々

2019年10月吉日

みよし市東山台34-27

高木 昭 俊